

生徒会長あいさつです。
百年の歴史を育んできた方々
への感謝と、新しい歴史を作
っていく決意を語ってくれま
した。



～ 100周年記念式典 生徒会長あいさつ ～

三重県立盲学校創立100周年、おめでとうございます。

私たち児童生徒は、創立100周年という記念すべき年に、この盲学校で学んでいることを、とても誇りに思います。今回、学校全体で「ふるさと」という歌を合唱することになり、練習をしてきました。私は生徒数の少ないこの盲学校で、合唱をする経験はできないと思っていました。けれども、この取り組みで、子どもから大人までの声がきれいに重なり合い、100周年へのそれぞれの思いが大きく1つにまとまり、すてきな響きの合唱に仕上がりました。

100周年イヤーの今年には、元パラリンピアンの高田さんからゴールボールの講習、太鼓奏者の片岡さんには太鼓のワークショップ、名古屋フィルハーモニーの生演奏の鑑賞など、たくさんのイベントを南郊中や雲出小や高茶屋小と共に行い、盲学校だけでは味わえない雰囲気を感じることができました。これらの貴重な体験を通して、新しいことにチャレンジすることの大切さと、一步を踏み出す勇気をもらいました。

同窓生の方々からは、たくさんの記念品をいただきました。これから、より一層安心して充実した学校生活を送ることができることを、本当に嬉しく思います。

私たち児童生徒は、日々、自らの目標に向かって、たくさんの挑戦をしています。その挑戦は1人ひとり違いますが、みんな一生懸命努力し、自分の夢や目標に向かって頑張っています。

100周年を節目として、卒業されたたくさんの先輩方の思いを胸に、これから私たちが新しい歴史をつくっていきます。